

平成29年度第1回団体連絡会議事次第

1. 日時：平成29年6月21日（水）14：00～16：00

2. 場所：（一社）日本建材・住宅設備産業協会 A・B 会議室

3. 議題

(1) 挨拶

一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会 専務理事 奥田 慶一郎 14:00～

(2) 講演

・「データの利用権限に関する契約ガイドライン」説明会 14:00～14:20

経済産業省 商務情報政策局 情報経済課 課長補佐 明石 幸二郎 様

・経済産業省における住宅産業政策の動向 14:20～15:00

経済産業省 製造産業局 生活製品課 住宅産業室 課長補佐 志村 典彦 様

・国土交通省の平成29年度の住宅関連施策と安心R住宅について 15:00～15:50

国土交通省 住宅局 住宅政策課 住宅活用・国際調整官 中澤 篤志 様

(3) 関係団体・企業からのお知らせ 15:50～15:55

・「環境共生住宅早わかり設計ガイド／集合住宅編」出版のご案内 一般社団法人環境共生住宅推進協議会

・家庭の省エネエキスパート検定の手引き及びビルの省エネエキスパート検討の手引きについてのご案内 一般財団法人省エネルギーセンター

(4) 建産協からの報告・他 15:55～16:00

・平成29年度 団体連絡会の開催スケジュール

第2回 平成29年 9月15日（金） 14：00～16：00

第3回 平成29年 12月13日（水） 14：00～16：00

第4回 平成30年 3月20日（火） 14：00～16：00

・Japan Home & Building Show 2017 出展のお知らせ

主催：一般社団法人日本能率協会

会期：平成29年11月15日（水）～11月17日（金） 10:00～17:00

会場：東京ビックサイト 東1・2・3ホール

(配布資料)

団連29-1-1 平成29年度第1回団体連絡会議事次第

団連29-1-2 データの利用権限に関する契約ガイドライン Ver1.0 について

団連29-1-3 経済産業省における住宅産業政策の動向

団連29-1-4 『安心R住宅（仮称）』（案）について

(別紙・別冊)

・News Release

一般社団法人環境共生住宅推進協議会

・検定の手引

一般財団法人省エネルギーセンター

以上

## 平成29年度第1回団体連絡会開催報告



平成29年6月21日(水)、平成29年度第1回団体連絡会が建産協会議室にて31団体等42名の出席者のもと開催された。

まず、奥田専務理事による主催者挨拶の後、経済産業省 商務情報政策局情報経済課 課長補佐 明石幸二郎氏から「データの利用権限に関する契約ガイドライン」の説明会が行われた。続いて、経済産業省 製造産業局生活製品課住宅産業室 課長補佐 志村典彦氏からの「経済産業省における住

宅産業政策の動向」と題する講演と、国土交通省 住宅局住宅政策課 住宅活用・国際調整官 中澤篤志氏からの「国土交通省の平成29年度の住宅関連施策と安心R住宅について」と題する講演が行われた。

## 講演1：データの利用権限に関する契約ガイドライン Ver1.0 について\*



講師：経済産業省 商務情報政策局情報経済課 課長補佐 明石幸二郎氏

- ・データの利用権限に関する契約ガイドライン Ver1.0 作成の背景
- ・契約ガイドラインの概要

「データの利用権限に関する契約ガイドライン」について以下の説明があった。このガイドラインは、事業者間でデータの利用権限の取扱いが明確となっていないためデータ流通が進まないという課題に対処するため策定されたものである。これによりデータ創出への寄与度に応じた権限分配などに関する留意点を整理し、データ利用権限の明確化を図っている。利用権限は当事者が合意して決定されるが、そのプロセスは、①申入れ事前確認、②データの選定、③利用権限の決定、④条項作成の4段階である。利用権限の決定は、A or B といういずれか一方への帰属ではなく、A and B という共同保有も念頭に置いたデータ協調社会を目指したものである。

最後は、本日の資料の表題に「Ver1.0」とあるが、これは「Ver2.0」を念頭に置いているためである。業界の実態に合っていないというようなことがあれば、業界の特殊性を考慮し改訂していきたいので協力をお願いしたいとの言葉で結ばれた。

(※建産協ホームページ内の会員専用コーナーより関連資料がご覧いただけます。)

---

## 講演2： 経済産業省における住宅産業政策の動向\*

---



講師：経済産業省 製造産業局生活製品課住宅産業室 課長補佐  
志村典彦氏

1. 住宅産業を取り巻く環境
2. “Connected Industries”
3. 住宅リフォーム市場の拡大に向けて
  - －新市場の創出(IoT の推進)\*
  - －高性能建材の普及
  - －先進的なリフォーム事業者表彰
4. 標準化の推進

まず、生活をよくする製品を所管している生活製品課は、消費者本位という目線を保ちつつ、業界の中長期的発展を考慮したサポートを行っていききたいというお話があった。

「1. 住宅産業を取り巻く環境」では、住宅ストック数は量的には充足していること、全住宅流通量に占める既存住宅流通シェアは15%程度と欧米の1/5から1/6であること、住生活基本計画ではリフォーム市場を2025年までに12兆円にすることを目指していること等が説明された。

「2. “Connected Industries”」では、いままでは繋がることが考えられなかった「もの×もの」、「人×機械・ロボット」といったように、様々な繋がりによる新たな付加価値創出、新しいビジネスモデルの誕生、これらが新たな経済社会である Society5.0 を形作る原動力になっていくという Connected Industries のコンセプト等が紹介された。

「3. 住宅リフォーム市場の拡大に向けて」「新市場の創出(IoT の推進)」の項では、IoT 推進コンソーシアムと、住宅 IoT による住生活サービスの実現に向けた施策の紹介が、「高性能建材の普及」の項では「高性能建材による住宅の断熱リフォーム支援事業」等の制度紹介があった。「先進的なリフォーム事業者表彰」の項では、今年度の表彰が一般社団法人日本住宅リフォーム産業協会主催「ジェルコリフォームコンテスト」の中で行われることとなったことが説明された。

「4. 標準化の推進」においては、建産協の取組の紹介があったのち、業界の標準化事例の紹介、経済産業省としての支援策の説明があった。

---

## 講演3： 国土交通省の平成29年度の住宅関連施策と安心R住宅について\*

---



講師：国土交通省 住宅局住宅政策課住宅活用・国際調整官 中澤篤志氏

1. 安全で質の高い住宅・建築ストックの整備・更新への支援策等について
2. 安心R住宅について

まず、「安全で質の高い住宅・建築ストックの整備・更新への支援策等について」と題し、国土交通省の住宅関連施策の概要説明があった。その中で、様々な施策、支援策については「住生活基本法」に基づく「住生活基本

(※建産協ホームページ内の会員専用コーナーより関連資料がご覧いただけます。なお、住宅リフォーム市場の拡大に向けて一新市場の創出(IoT の推進)は本誌行政ニュース1 P2に掲載。)

計画」がベースになっていること、平成 28 年 4 月施行の「長期優良住宅(増改築)認定制度」にインスペクションの実施が盛り込まれていること、規制処置が平成 29 年 4 月に施行となった「建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律」による住宅・建築物の省エネ性能強化、「長期優良住宅化リフォーム推進事業」、「住宅ストック循環支援事業」を始めとする様々な支援策、スマートウェルネス住宅等推進事業の一環として断熱改修等による居住者の健康への影響調査が行われていること等が紹介された。

続いて、不安、汚い、わからないといった従来のいわゆる「中古住宅」のマイナスイメージを払拭し、耐震性等品質を備え、建物の適切な情報提供が可能な、住みたい、買いたい既存住宅を消費者が安心して選択できるよう既存住宅の流通促進に寄与する事業者団体の登録制度「安心 R 住宅」を設け、既存住宅流通市場の活性化を図っていく旨の説明があった。8 月末頃に団体登録制度が告示制定の運びとなる予定であること等が紹介された。最後に、「安心 R 住宅」はあくまでベースラインの制度であり、今後「安心 R 住宅プラス」や「安心 R 住宅プレミアム」といった発展形もありえるとの言葉で締めくくられた。

---

## 関係団体・企業からの案内

---



- ・「環境共生住宅早わかり設計ガイド／集合住宅編」出版のご案内  
一般社団法人環境共生住宅推進協議会 中澤芳朗氏

---

## 建産協からの報告・他

---

- ・平成 29 年度団体連絡会の開催予定日
  - 第 2 回 平成 29 年 9 月 15 日(金) 14 : 00 ~ 16 : 00
  - 第 3 回 平成 29 年 12 月 13 日(水) 14 : 00 ~ 16 : 00
  - 第 4 回 平成 30 年 3 月 20 日(火) 14 : 00 ~ 16 : 00
- ・Japan Home & Building Show 2017 出展のお知らせ
  - 主催：一般社団法人日本能率協会
  - 会期：平成 29 年 11 月 15 日(水) ~ 11 月 17 日(金) 10 : 00 ~ 17 : 00
  - 会場：東京ビックサイト 東 1・2・3 ホール